



友だちアート新聞を作る

4年生 7時間

三重県 名張市立百合が丘小学校 上谷典秀（うえたにのりひで）

概要

どこの学校でもある校内作品展をうまく活用して、単なる鑑賞に終わらず取材活動と新聞作り活動を組み込むことによって情報活用の実践力を鍛えることができる実践です。一人ひとりの鑑賞の後、チームを組んで話し合いながらお気に入りの作品を選び、その作者に、制作意図などの思いをインタビューし、新聞に仕上げていくという活動を行います。

ねらい

- 校内作品展を真剣にかつ楽しく目的を持って鑑賞することができる。
- 新聞のための取材項目を考え、相手にわかりやすくインタビューができる。
- 見栄えのよい新聞を作るためにデジタル機器をうまく使うことができる。



学習の流れと教師の手立て

- 1時間目：校内作品展（アートフェスティバル）で、気に入った作品をチームで2、3作品選ぶ。（どこがいいのかを話し合いながら）
- 2時間目：デジタルカメラで撮影する。（1作品につき5、6枚）
- 3時間目：PhotoshopElementsのコンタクトシート機能で一覧を作成し、どんなところが気に入ったのか、なぜ選んだのか、どんなところを聞いてみたいのかなどを話し合う。
- 4時間目：作者へのインタビュー項目を考える。作者へのアポとりからまとめ方まで計画する。
- 5時間目：インタビューと作者撮影（デジタルカメラ）を行い、自分たちの感想意見を入れて記事をまとめる。
- 6時間目：PhotoshopElementsでトリミングと画像補正をする。
- 7時間目：楽しい紙面になるようにうまくレイアウトする。

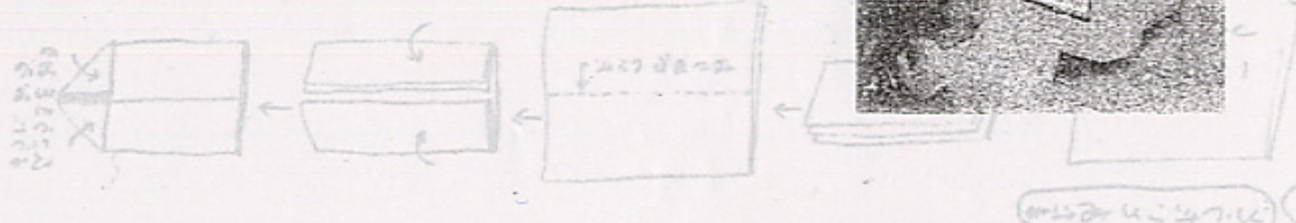


実践して

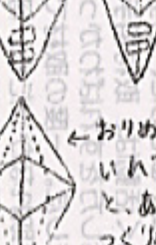
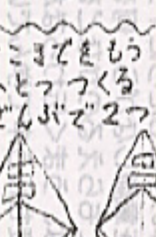
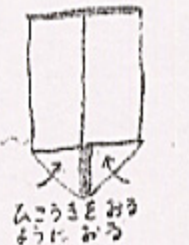
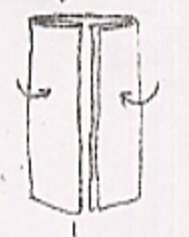
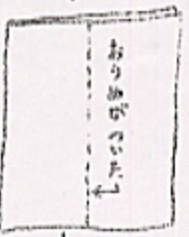
●校内作品展で作品を選ぶという活動を通して、作品に対する自分の視点だけでなく、友だちが絵や工作をどのように見ているかということに気づきいろんなとらえ方をすることができました。また、作者がどんな思いで作品作りに向かったかということを探りながら作品を見直すこともできました。

●新聞にするために、他学年の子どもたちにインタビューを依頼し、取材していく活動は、取材相手を意識しながら、何を伝えればよいか、どのような話し方をすればわかってもらえるのかなどを活動の中で考えることができました。一度の取材では、うまく伝わらなかったり、思っていたことが聞き取れなかったり、何度も行う中で学んでいったようです。

●作者の写真の必要などところだけ切り取ったり、画像全体が暗いのをうまく明度を調整したりできることに驚きながら、画像補正のやり方も学びました。

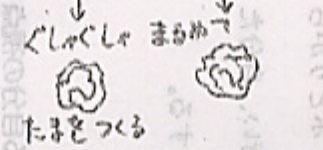
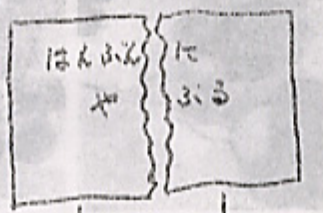
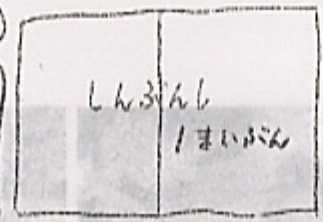


① どうたいとあたま



←おりめを
いれておく
と、あとが
つくやすい!

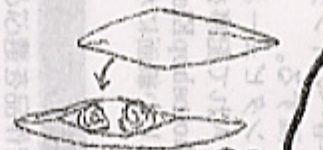
② どうたいのふくらみ



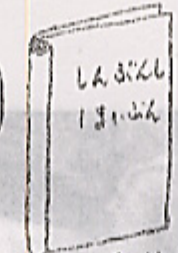
ここまですもういちど
やってくしくしたまを
せんばで4つつくる



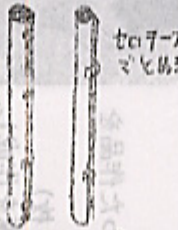
①のなかに入れる。



③ あし



しんぶんしのながいほう
をくるくるほそくまく。
これを2ほんつくる



足を入れてからセロテープで
どうするのようがあととめる。
足もしっかりとめる。

しんぶんして
とかげくんを
作ろう!

④ 顔



どちらか
いっぽうを
わさんでしぼる
前足をしっかり
おくにいれておくと
顔がでるにたい。



⑤ しっぽ



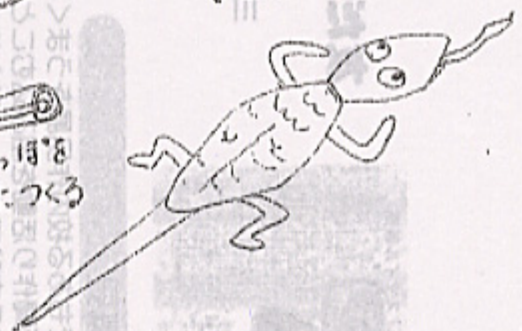
とらげのしっぽを
けんのようにつくる

⑥



⑦ あとは色をぬる、
色やまようをかいた
かみをはるかりして
おしにれにしよう。

⑧ さいごに、
めとしたをつけたら
できあがり。



子ども心をきっとGET！ My Pet トカゲくん

～目からウロコ？フォトショップフィルタのこんな使い方～

4年生 4時間

三重県 名張市立百合が丘小学校 上谷典秀（うえたにのりひで）

概要

4年生の子どもたちは、トカゲやかいじゅうが大好き。今回は、思わずペットにしたくなるようなかわい
いトカゲくんのオブジェを作り、自分で作った模様のうろこをはりつけておしゃれにしようという活動
を行いました。作り方は超簡単、新聞紙1日分でトカゲくんを作ります。そのあと、どんな写真でもいいか
ら、その写真の色要素を利用しフォトショップのフィルタ機能を使ってステキな模様に仕上げます。それ
をトカゲくんに貼り付けていくととってもステキなMy Petトカゲくんのできあがりです。子どもたちは
どの場面の活動でもノリノリでした。

ねらい

- 新聞紙でオブジェを作ることを通して、紙という素材を立体に仕上げる楽しさを味わうことができる。
- いろいろな写真の中で、自分が表したい色の要素が入っている写真を選び、試行錯誤しながら気に入
ったデザインを作っていくことができる。
- 作成した模様をどのような形で、どのような大きさで、どのような配列で立体に貼っていくと気に入
ったデザインになるかを考えることができる。
- デジタル画像を加工する時、フィルタ機能を効果的に使うことができる。

前提となる学習

- デジタルカメラで撮影したことがある。
- デジタルカメラのデータをパソコンに保存したことがある。
- パソコンに保存したデータを読み込むことができる。

学習の流れと教師の手立て

- 1時間目：新聞紙1日分でトカゲのオブジェを作る。（20分くらいで完成）
その後、絵の具で下塗り。
教師：教師が作ってきたサンプルを見せて、作品のイメージや見通しを持たせる。
- 2時間目：事前に撮りためてあったデジカメの画像をフォトショップのフィルタ機能を使ってお気に入り
の模様に変える。
教師：魔法のボタン（フィルタ機能のことをこう呼ぶ）で、画像をどんどん変わっていく様をプロジェ
クタに映しながら実演する。
教師：フォトショップでの画像を読み込み、フィルタ機能の使い方、できた画像の保存の仕方、印刷の
仕方をおさえる。
- 3,4時間目：作成した模様をうろこにしなからトカゲのオブジェに貼り付けていく。
最後に目と舌を画用紙で作成して完成させる。
教師：作成した模様を効果的に配列したり、色の組み合わせのおもしろさをうまく表現したりしている
子どもの作品を紹介しながら、子どもたちのよさを広げていく。一つ一つのうろこを丁寧に貼り付けて
いくことを大切にしたい。

子どもたちの学び・つまずき

- 普段何気なく見ている写真が様々な色の集合体であることに気づき、その色を使って今まで考えたこと
のなかったデジタル表現ができることに気づくことができた。
- 自分が気に入ったデザインができるまで、素材となる写真を替え、フィルタを替え、何度も試行錯誤し
ていく活動の中に
- 作成した模様のどの部分をどのように並べていけば、自分が表現したいものになるかをよく考えていた。

ここでPhotoshop Elementsをこう使う！



1. 元の画像です



2. パッチワークフィルタを使いました。



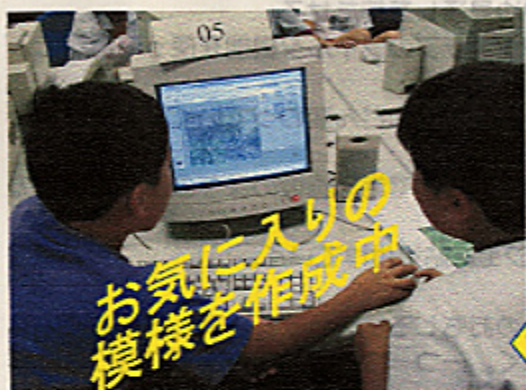
3. 回転フィルタを使ったら、こんな風に！



4. 押し出しフィルタを使うと元の画像からかなり変わりました。



5. 海の波紋フィルタでどんどん模様になってきました。



子どもたち
フリフリ！



自分の写真からこんなステキな模様ができたよ！